

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

三月二十三日(土) 午後二時より
春季彼岸会



今号の法語

地がくるえば 地震
水がくるえば 水害
火がくるえば 火事
人がくるえば 鬼となる



今号の内容

- ・ 広濟寺の被災状況について
- ・ 能登半島地震 被災地へ支援活動
- ・ 千夏のきときと日記
- ・ 住職コラム
- ・ 四月二十日(土)は広濟寺仏教婦人の集い



今年には忘れることができないお正月になりました。一月一日、十六時一〇分に発生した能登半島地震。年の始め、まさに元旦に襲った大地震は、私たちの心に深い爪痕を残しました。

津波に土砂崩れ、火に包まれる輪島の朝市。当たり前だったものが突然奪われていく光景に、荒れくるった現実の厳しさを痛感させられます。

世界に目を向けてみても、先の見えない争いばかり。「外のこと。自分には関係ない」としてしまう私も、思いやりの心がくるつた、やはり鬼なのでしょう。

思うままにならない、荒れくるう私たちの世界だからこそ、仏さまは「ともに歩むぞ」と一人一人に語りかけます。

分けへだてなく手を取り合おうとされるそのお姿が、私たちに大切なことを教えてくれているようです。

広濟寺の被災状況について

広濟寺のある高岡市は、震度5強の揺れを観測。今まで経験したことのない揺れとその長さ、どうなることかと思いましたが、少し落ち着いてから、お寺の状況を確認させていた

度5強の揺れを観測。今まで経験したことのない揺れとその長さ、どうなることかと思いましたが、少し落ち着いてから、お寺の状況を確認させていた

だいたのですが、見た目には大きな被害はなかったようです。墓地に関しては、江戸時代からの墓地が一基崩れましたが、他は大きな被害はありません。

墓地に関しては、江戸時代からの墓地が一基崩れましたが、他は大きな被害はありません。

人的被害がなかったことが何よりでした



崩れた鏡餅(この程度)



一〇〇七年三月に先の能登半島地震があつたことから、広濟寺では皆さん方のご懇志により本堂の耐震化工事をしておりました。一五九二年に再建したと伝わる本堂です。被害が少なかったのは本堂にご門徒さん方の力添えがあつてこそのことでした。改めて深く感謝申し上げます。

能登半島地震

被災地へ支援活動

一月一日以降、浄土真宗本願寺派ではいろんな枠組みで支援活動を続けています。私に参加させてもらっている活動について少し紹介させていただきます。発生当初は伏木・氷見地区への断水地区への水支援。当時

はどのお店も水が売り切れという状況でした。四日からは液状化被害を受けた伏木地区のお寺で土砂撤去作業。晴れた日が続いたのが何よりの救いでした。

九日、能登島のお寺へ物資の支援。避難しておられる方々が、被災以上に地域のこれからの将来を憂いておられたのが印象的でした。

先月からは、門前町の公民

館へ炊き出し活動を始めています。周辺におよそ二〇〇人が避難しておられますが、仮設住宅ではない為、各自で調理することはできません。当分は炊き出しの活動を続けていく予定です。

皆さん方には多方面でご支援いただき、本当にありがとうございます。お時間の都合のつく方は、ご協力いただければ幸いです。どうか宜しくお願いいたします。



とろろ昆布のおにぎり作り

千夏ちなつのきときと日記

令和六年の年の始まりはいはとりあえず安心だと言われ
 い天気でした。それが夕方になる風呂場へ。長い揺れの間、住
 は一転。元旦に能登半島を職と坊守を声を大にして呼び
 震源とする最大震度七の大「どこにおる？」と叫んでいま
 地震が発生しました。まずは幸い二人もすぐ近くに
 被災された皆様にお見舞い申し上げます。

私はその時一人で洗濯場に
 いました。突然揺れ始めて呆
 然としているのもつかの間、す
 ぐ二階にいる娘が心配で洗濯
 物を放り出し洗濯場
 を離れました。する
 と娘を抱っこした夫
 (若院)が、「結構揺
 れたね」と声をかけ
 てくれ少し安心した
 瞬間、すぐ二回目の
 大きな揺れが始まり
 ました。私たち三人



このような災害や
 身近な人の死に遭
 わないと私たちは
 今を生かさせていた
 だいている喜びを感
 じないのかもしれま
 せん。
 よくお葬式等で読
 まれる『白骨の章』

はとりあえず安心だと言われ
 る風呂場へ。長い揺れの間、住
 職と坊守を声を大にして呼び
 した。幸い二人もすぐ近くに
 ることが分かりました。二回
 目の揺れはとても長く、物が
 落ちる音、割れる音、恐ろしい
 音と共に恐怖を感じました。
 その後余震があり、不安な
 日々を過ごしました。

はまさにそのことを教えてく
 ださっています。
 この御文のなかに『朝には紅
 顔ありて、夕には白骨となれ
 る身なり』とあります。朝「いつ
 てきまーす」と元気に出かけ
 て行った者が、夜には変わり果
 てた姿となって帰ってくるこ
 ともあるということですよ。
 私たちが今できること。それ
 は『今』を大切に生かさせてい
 ただく、それに尽きると感じ
 た大地震でした。



住職コラム

能登半島地震から早や二カ
 月半が経ちました。

北陸三県は新幹線の敦賀延
 伸で盛り上がっています。一方、
 和倉・加賀・山中温泉等の旅
 館には、二次避難している方が
 大勢おられるそうです。観光
 客が増え地元が潤う喜びの反
 面、避難者の生活が気にかか
 るという声もありました。

能登半島の地域の方々には真
 面目で忍耐強く心優しい方々
 が多いと聞きます。避難して
 おられる方に観光客の増減の
 心配をさせること自体が誠に
 申し訳なく思います。

他を思いやるということは易
 しいようで難しいことですね。



合掌

四月二十日(土)は

広済寺仏教婦人の集い

来月二十日(土)午後二時より、広済寺仏教婦人の集いを開催します！

昨年コロナ禍で四年ぶりの開催でしたが、たくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。今年も楽しい集いとなるよう鋭意企画中です♪

会費は、一〇〇〇円をお願いしています。美味しいケーキや飲み物を用意して、皆さん

来月二十日(土)午後二時よりのご参加をお待ちしています！申し込みはお寺(LINE等)まで。



お寺LINEが便利です

お寺(広済寺)LINEの活用が広がっています。電話じゃないので、いつでも連絡いただけますよ。月参りの予定変更や法事の日程調整など、簡単にできてお寺としても助かっています。



上のQRコードから是非使ってみてくださいね♪

お知らせ

令和六年

春季彼岸会

三月二十三日(土)

午後二時より

法話 当寺 若院

蓮門会

四月七日(日)

午後三時より

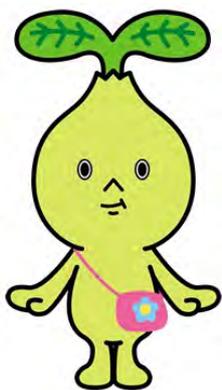
場所 麻生谷 西光寺

広済寺仏教婦人の集い

四月二十日(土)

午後二時より

会費 一〇〇〇円



編集後記

今回の能登半島地震における支援活動には、東日本大震災で被災された福島県の方々からの見舞金も活用させてもらっています。

二〇一一年の大震災以降、炊き出しなどを通して福島県飯館村の方々との交流が続けられました。広済寺のご門徒の皆様にも、福島への支援米活動において毎年ご協力いただき、本当にありがとうございます。

今回その飯館村の方々から「今度は自分たちが力になりたい。皆さん方の支援活動に使ってほしい」と、お気持ちを寄せてくださいました。

今も心を向けてくださっておられることが、とても有り難く、また尊く思われます。心のつながりが力になっています。

飯館村のイイタネちゃん